

# NRみおぎ(L<sup>3</sup>)

農研機構、茨城県、宮崎県との共同研究にて育成しました



# サツマイモネコブセンチュウ抵抗性 ピーマン NRみおぎ(L<sup>3</sup>)

## 品種特性

- サツマイモネコブセンチュウに対して抵抗性がある、「みおぎ」タイプの緑果品種です。
- トウガラシ微斑ウイルス(PMMoV(P1.2))に対して抵抗性(L<sup>3</sup>)があります。
- 「みおぎ」と同程度の収量があります。
- 果肉は「みおぎ」よりやや厚くなります。
- 半促成栽培、抑制栽培、促成栽培の作型が適しています。

## 栽培の要点

- より収量を安定させるには、生育初期からの草勢の維持がポイントです。
  - ・若苗定植して1~3分枝の花を摘む。
  - ・主枝はV字に仕立てて素直に伸ばし、側枝は2節目以降の強い枝を整枝して、主枝の草勢を保つ。

## 「NRみおぎ」導入上の注意点

—— 「NRみおぎ」の抵抗性を打破する  
サツマイモネコブセンチュウが発生する可能性があります ——

- 「NRみおぎ」を導入する場合は、薬剤処理や物理的防除など、必ずその他のセンチュウ対策と併用してください。
- センチュウ感染の疑わしい株が発生した場合は、すぐに指導機関に連絡して、検査に出してください。併せて、今後の対応について、指導機関と相談してください。

本品種の育成は、農研機構生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」(261020)の支援を受けて行いました。



公益財団法人  
園芸植物育種研究所  
Institute for Horticultural Plant Breeding